

京都大学ジャパングateway構想 (JGP)  
融合工学コース 物質機能・変換科学分野  
Japan Gateway: Kyoto University Top Global Program  
スーパーグローバルコース (TGC)  
Top Global Course of Chemistry and Chemical Engineering

## コース履修者募集説明会

日時：2月3日(水) 12:10～12:40

場所：A2-302号室

対象：化学，化学工学分野で世界で活躍することを夢見る，  
博士課程進学を考えている4回生，修士

### 1. スーパーグローバルコースについて

京都大学では，先見性を重視する本学の精神にもとづき，戦略性，創造性，展開性ならびに継続性をもって世界で活躍するグローバル人材を育成するトップ型日本モデルとして，**スーパーグローバル大学創成支援「京都大学ジャパングateway構想」**を平成26年度(2014年)より開始しました。この事業の一環として，海外の大学院と連携したコースの設立に向けての活動に**工学研究科化学系6専攻**も参画し，平成27年度(2015年)より**スーパーグローバルコース (英語名：Top Global Course)**を開設しています。

プログラム履修候補生の募集等の詳細については，別途掲示等にてお知らせします。カリキュラムについては，融合工学コース「物質機能・変換科学分野」を参照してください。

2013年10月1日(火)

# 国際化へ新構想を発表 京大グローバルアカデミー(仮称)

**企画機能 = グローバルアカデミー 統括本部**  
京大グローバルアカデミーを全学的見地から統括・牽引

**教育機能**

- リーディンググローバル学域(文芸学)
- リーディンググローバル学域(理学)
- リーディンググローバル学域(工学)
- リーディンググローバル学域(農学)
- リーディンググローバル学域(経済学)
- リーディンググローバル学域(法学)
- リーディンググローバル学域(医学)
- リーディンググローバル学域(歯学)
- リーディンググローバル学域(薬学)
- リーディンググローバル学域(看護学)
- リーディンググローバル学域(工学)
- リーディンググローバル学域(農学)
- リーディンググローバル学域(経済学)
- リーディンググローバル学域(法学)
- リーディンググローバル学域(医学)
- リーディンググローバル学域(歯学)
- リーディンググローバル学域(薬学)
- リーディンググローバル学域(看護学)

**研究機能**

- リーディンググローバル学域(文芸学)
- リーディンググローバル学域(理学)
- リーディンググローバル学域(工学)
- リーディンググローバル学域(農学)
- リーディンググローバル学域(経済学)
- リーディンググローバル学域(法学)
- リーディンググローバル学域(医学)
- リーディンググローバル学域(歯学)
- リーディンググローバル学域(薬学)
- リーディンググローバル学域(看護学)

京大グローバルアカデミー(仮称)の概要(仮)は、京大の国際化戦略を推進するための重要な役割を担う。京大は、国際化戦略を推進するための重要な役割を担う。京大は、国際化戦略を推進するための重要な役割を担う。

## 京都大学新聞

### 京大グローバルアカデミー(仮称)構想 Kyoto University Global Academy\*

国際戦略の実現にあたって、学部段階からグローバルに活躍できる人材を育てるとともに、質の高い国際共同研究を拡大するため、「京大グローバルアカデミー」(仮称)を創設します。この取り組みでは日本の中長期的な成長を支える人材を育てることを中心に、研究と教育両面における海外大学との連携・協力関係の強化を図ります。

**教育機能**

**国際高等教育院**  
Institute for Liberal Arts and Sciences



英語運用能力育成のための国際高等教育院教育プログラムを実施します。

Liberal arts programs for better practical international communication on skills and English language proficiency.

**学部・大学院スーパーグローバルコース**  
Advanced Global Courses (Undergraduate / Graduate)



英語の中で卒業・修了可能な学部・大学院スーパーグローバルコースを実施します。

Undergraduate and graduate degree programs which are taught, administered, and supported entirely in English.

**思考教育のリーディングプログラム**  
Leading Programs of the Graduate School of Advanced Leadership Studies and Other Graduate Schools



国際競争上の優位性を強化し、グローバル人材の新たなキャリアパスを構築します。

Through enhanced cooperation with international industry, organizations, and academic institutions, these programs will forge new career paths for international human resources.

**国際連携スーパーグローバル学位プログラム(仮称)**  
Advanced Global Degree Program in International Cooperation\*



世界トップレベルの大学から研究者を募集し、国際連携スーパーグローバル学位プログラム(仮称)を実施し、国際競争力向上を図ります。

To attract world-class researchers from leading institutions overseas, the Advanced Global Degree Program in International Cooperation\* will foster internationally competitive, talented individuals. As joint degree programs, the Graduate Program of Advanced International Cooperation\* is also currently in development.

**研究機能**

**国際連携スーパーグローバル学位プログラム**  
The Joint Ming Advanced Program (Kyoto University) Young Scholars Overseas Visit Program



本学が牽引する日本人材(研究者、職員および学生)を対象に、海外の大学や研究機関への留学・研修の機会をさらに拡大します。

A university-wide program for researchers, staff, and students, which seeks to cultivate the next generation of leading internationally-minded talent. The advanced program will offer enhanced study and training opportunities at overseas academic, research institutions, and other organizations.

**スーパージョンワプログラム**  
Hokubi Project



海外の大学や研究機関との共同研究を促進し、国際競争力向上を図ります。

A five-year program which provides outstanding young researchers with the ideal environment to fully devote themselves to their research. By providing the perfect conditions for intellectual creativity, the program seeks to foster world-leading researchers regardless of nationality or field of study.

**白眉プロジェクト**  
International Center for Emerging Sciences\*



本学と海外大学の世界トップレベルの研究者による共同研究ユニットを創設し、国際競争力向上を図ります。

A collaborative research unit for cooperative projects between leading researchers from Kyoto University and institutions overseas. The International Academy of Advanced Sciences will represent the pinnacle of international collaborative research.

2

JGP

Top Global University Project "Japan Gateway - Kyoto University Top Global Program"  
 スーパーグローバル大学創成支援「京都大学ジャパングートウェイ」

HOME
検索
メニュー
スーパーグローバルコース提供分野
教育・学生インタビュー
お問い合わせ
English

## 京都大学ジャパングートウェイ構想について

HOME

ニュース一覧

挨拶

概要

スーパーグローバル大学創成支援について

京都大学ジャパングートウェイ構想について

ダブルディグリー・ジョイントディグリーについて

MOOCsについて

外部評価委員会報告

スーパーグローバルコース提供分野

人文社会科学分野

Home / 概要 / 京都大学ジャパングートウェイ構想について

10年後を見据えた入試から大学院までの教育改革と国際化により次世代のトップレベル研究者を世界に輩出

本学が十分な国際競争力を持つ分野を擁する大学院に、各分野の世界トップレベル大学と連携して実施する国際共同教育プログラム「スーパーグローバルコース」を設置します。各分野のスーパーグローバルコースにおいては、パートナー大学との共同科目の開発、博士論文の共同指導・査読等の取組を行うとともに、国際共同学位プログラム「ジョイント/ダブルディグリープログラム」の開発を進めます。これによる大学院教育の国際化と、入試改革、外国人教員の雇用促進、留学生の受け入れおよび学生の海外派遣の増加、英語による授業の増加等、大学教育の様々な側面の国際化との相乗効果により、本学の研究・教育力の更なる強化を図り、世界で活躍する次世代のトップレベル研究者を輩出します。

<div style="background-color: #f08080; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; color: white;">人文社会科学分野</div> <p style="font-size: 0.8em;">人文社会科学分野では、「持続可能性」と「跨領域性」をキーワードに経済学・文学・農学の3研究科が協力し国際共同教育・学位プログラムを実施しています。広範領域を網羅していることに加え世界各地の大学と連携を持つ強みを活かして、これまでに文学研究科でハイデルベルク大学とのジョイントディグリープログラム（修士課程・国際連携文化越境専攻）を、また経済学研究科でグラスゴー大学とのダブルディグリープログラム（博士後期課程）を開始しました。研究交流ハブ拠点となることを目指し、ワーヘンゲン大学、ストラスブル大学、ゲッティンゲン大学、チュラロンコン大学等、欧州・アジアの主要大学との研究交流、第一線の研究者による直接指導を通じ、国際的競争力のある学生育成を推進しています。</p>	<div style="background-color: #90ee90; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; color: white;">医学生命分野</div> <p style="font-size: 0.8em;">医学生命分野では、ノーベル医学生理学賞、ロベルト・コッホ賞、アルバート・ラスカー賞などの世界的に著名な賞を受賞者を数多く輩出してきました。その世界第一線級の研究力、プレゼンスをより一層強化するため、ゲノム医学領域を中心に、マギル大学、ホルダー大学、パズール研究所といった欧米トップクラスの海外パートナー校とのさらなる連携体制の構築に取り組んできました。さらに、平成30年4月より、国際共同教育プログラムの発展形として、マギル大学との国際共同学位プログラム「京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻（博士課程）」を開発し、大学院教育の徹底した国際化を断行し、国際競争力のある人材を育成するとともに、京都大学の世界的評価を高めることを目指します。</p>	<div style="background-color: #66b3ff; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; color: white;">化学分野</div> <p style="font-size: 0.8em;">化学分野を構成する工学研究科化学系6専攻は分子レベルの理論的解析から地球規模の環境、エネルギー問題の対応までを含む、非常に幅広い教育・研究を実施する世界的に見ても最大規模の化学系大学院組織であり、ノーベル化学賞、フンボルト賞をはじめとする世界的な賞を数多く受賞しています。また化学工学分野ではQSランキングの世界5位となっています。本分野では当化学分野の持つ特徴を最大限に生かし、マサチューセッツ工科大学等の海外連携大学教員による集中講義形式の科目を含め、講義の多く（博士後期課程においてはすべて）を英語で開講する教育プログラムを設置して国際水準の教育を確立し、大学院生の研鑽力の強化と国際化を図るとともに、質の良い留学生数の増加も目指しています。</p>
<div style="background-color: #90ee90; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; color: white;">数学分野</div> <p style="font-size: 0.8em;">数学分野は、フィールズ賞をはじめとする世界的に著名な賞を数多く受賞し数理科学の広範な分野をカバーする世界最高水準の研究者集団を擁し、時代を先導する研究を数多く行ってきました。大学院生は、指導教員であるこれらの本学教員に加えて、第一線の外国人研究者を副指導教員とした共同研究指導を受けることにより、数学の高い研究能力と十分な語学力を備えて、国際的な環境の中で博士論文の研究を行うことができます。平成27年度には3名、平成28年度には7名、平成29年度には5名の大学院生が海外の研究者を副指導教員として博士の学位を取得しました。また国際的な研究ネットワークを構築し、学位論文の成果が国際的に認知されることで、国際的な活躍の場が広がります。</p>	<div style="background-color: #90ee90; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; color: white;">環境学分野</div> <p style="font-size: 0.8em;">地球環境学賞/学賞・農学研究科からなる環境学分野は、自然科学、社会科学、人文科学など多分野から構成され、環境問題に資する学際的・実践的な教育・研究を行っています。教育においては、Rattan Lal氏 (The Ohio State University)、Denis Pettrez氏 (Lille University) など著名な研究者を招へいし、環境学分野における先端事例を提供するとともに、マヒドン大学、ボゴール農業大学などと新たなダブルディグリープログラムを実施しています。加えて、提携大学における国際インターン研修の実施など、教育プログラムの国際化を推進しています。研究においても、日本学術振興会賞（藤見武）、日経地球環境技術賞・優秀賞（真常仁志ら）、日本農学賞（近藤直）を受賞するなど、新たな環境技術が評価されています。</p>	<div style="background-color: #90ee90; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; color: white;">社会健康医学分野</div> <p style="font-size: 0.8em;">社会健康医学分野は、21世紀のグローバルヘルスを先導するワールドプレミアム公衆衛生大学院の創成を目標として、専攻内に国際化推進室を設置し、チュラロンコン大学、マラヤ大学、マヒドン大学、国立台湾大学等のASEAN、東アジア、欧米の主要大学と連携しつつ、教育プログラムの学際化・国際化、学位プログラムの国際化を強力に推進すると共に、若手研究者に焦点化した国際交流を推進しています。これまでに、必修科目、一部選択科目、及びHPを英語化し、英語による教育・広報体制を前進させると共に、台湾、ASEAN、英国の主要公衆衛生系大学院から若手研究者を招聘して国際会議を開催し、併せて、国際共同研究の推進を図るため、連携海外大学との間で、活発な学生、教員の交流（派遣・招聘）を行っています。</p>

## ② カリキュラムポリシー

アドミッションポリシーで記した目的達成のため，化学・化学工学分野で世界的トップレベルの海外教育研究機関との連携・協力の強化を行い，化学・化学工学に関する先進的・学際的な研究・教育を展開する。

- ・化学・化学工学分野においてトップレベルの研究者を招聘し，集中講義を実施する。
- ・海外提携大学の化学・化学工学科の教員との共同研究の実施，その研究を通じた教育を実施する。
- ・海外提携大学の化学・化学工学科での研究インターンシップを実施する。
- ・海外提携大学の化学・化学工学科とのジョイントコースの設立を目指し，その準備段階として海外提携大学で取得した単位の認定制度を検討する。
- ・博士後期課程での履修に必要な授業科目は全て英語で開講する。

これらの教育を通して，化学・化学工学の各分野で，成果を世界に発信できる能力を有する研究者・技術者を育成する。

## ○応募要件

本コースでは，化学系専攻に係わる各分野において，広い視野で自ら考え，解決策を構築し，またその考えを世界に発信できる能力を有する研究者・技術者を育成し国際社会に送り出すプログラムを実施する。・・・略

### 1. 募集人員

コース履修者 6名～10名程度

### 2. 出願資格

令和3年4月に，先端化学専攻群，創成化学専攻群，または化学工学専攻の修士課程（修士課程教育プログラム，博士課程前後期連携教育プログラム）に入学・在籍予定者（修士課程1，2回生），あるいは博士後期課程に進学（編入学）・在籍予定者（博士後期課程1回生）で，博士（工学）の学位取得を目指す者。

### 3. 出願手続

京都大学大学院工学研究科Aクラスター事務区教務掛（宛先は、8.出願書類提出先を参照のこと）へ書留速達郵便もしくは持参にて提出すること。

- 1 英文履歴書（様式任意，A4サイズ1枚）
- 2 英文研究実績・計画書（様式任意）
- 3 指導教員の推薦書（様式任意，一通）
- 4 TOEFL/TOEIC/IELTSの成績（証明書）原本

なお，他大学の入学試験のために，原本を提出している場合は，コピーも可とするが，その旨申し出ること。TOEFL/TOEIC/IELTS等の受検経験がないために（4）の書類を準備できない学生，海外で長らく英語による学業に就き，英語を用いた学習・研究に関し既に高い能力を持つ学生については，上記試験の成績原本提出を当該学生に課さずに，英語力の判定を口頭試問時に行う場合がある。

#### 願書受付期間：

令和3年2月8日（月）～令和3年2月19日（金）午後5時必着

### 4. コース履修者の選抜方法

書類審査において総合的に判断し所定の基準に達した者に対して，英語での口頭試問（過去の研究経過ならびに今後の研究計画を英語で発表・質疑応答）を実施し，口頭試問の成績・指導教員の推薦書・出願書類に記載の研究実績・計画書の内容を総合して合否を判定する。

#### 口頭試問

令和3年3月2日(火)（時間は別途通知）に口頭試問を行い，JGP関連教員が評価する。

### 5. コース合格者の発表

コース履修者の合格発表は，令和3年3月12日(金)に行う（合否について，各出願者へ別途通知する）。選抜された学生は，令和3年4月から本コースに正式に進む。なお，コース履修者は融合工学コース物質機能・変換科学分野に所属し，所定の学修・研究に取り組む。

## コース修了要件

1. 工学研究科博士課程前後期連携教育プログラムの融合工学コース，物質機能・変換科学工学分野のスーパーグローバルコースに所属し，別途定める規定の単位を取得すること。
2. JGPセミナーとJGP国際インターンシップを，併せて1.5単位以上取得すること。
3. 博士論文（含草稿）に対して海外教授の指導を受けること，もしくは，海外研究機関で1ヶ月以上のインターンシップ研修を行うこと。
4. 物質機能・変換科学分野において必要な研究指導を受け，工学研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格すること。

## 修了に必要な単位

科目区分	単位数		
	5年型		3年型
	修士課程	博士後期課程	博士後期課程
コア科目	4単位以上	6単位以上	2単位以上
Major科目	8単位以上	10単位以上	2単位以上
Minor科目	4単位以上	6単位以上	2単位以上
ORT科目	8単位以上	10単位以上	2単位以上
その他の科目	必要に応じて指導教員の承認を得て履修		
合計	30単位以上	40単位以上	10単位以上

## 修了に必要な単位

(4)科目標準配当表 (物質機能・変換科学分野 (融合工学コース))

毎週時数				単位	科目区分				履修指定		
前期		後期			コア 科目	Major 科目	Minor 科目	ORT 科目	5年型	3年型,5年型	
春	夏	秋	冬						修士	博士	SGC 博士
		2		1.5	○	○	○		○	○	○
2				1.5	○	○	○		○	○	○

化学系融合コース (物質機能・変換科学分野) の中でSGCの欄に○がついている科目から履修すること

## 6. 学習助成

グローバルに活躍できる人材を育成するために、化学系各分野で世界的トップレベルの海外教育研究機関との連携・協力の強化を行い、化学系各分野での先進的・学際的な研究教育を展開する。そのプログラムのなかで海外の大学において研究インターンシップを実施する。海外の大学においてインターンシップを実施する場合には、渡航費および海外の大学への登録費を補助する。ただし、本プログラム履修は、履修者全員に対して海外の大学での研究インターンシップ実施を保証するものではない。

**活動の詳細は、ユニットのWeb-site参照**

The screenshot shows the website for the Faculty of Engineering at Kyoto University. The navigation menu includes 'Home', 'Subjects', 'Admission', 'Education', 'International Exchange', 'Research', and 'Students/Alumni'. The 'Education' menu item is circled in red. Below the navigation, there are four main sections: 'Undergraduate Education', 'Graduate Education', 'International Exchange Programs', and 'Industrial Cooperation'. The 'International Exchange Programs' section is circled in red, and it lists several programs, including 'International Exchange Programs' and 'International Exchange Programs'.

保護されていない通信 | jgp-cche.kyoto-u.ac.jp

Japan Gateway  
 TOP GLOBAL Kyoto University Top Global Program  
 Chemistry and Chemical Engineering Unit for the Top Global Course  
 学際総合教育研究推進センター スーパーグローバル/ILコース化学系ユニット

HOME Sitemap

HOME Message Outline Members Events Activity Reports Contact / Access

**Japan Gateway: Kyoto University Top Global Program**

Chem&ChemEn

EVENTS [More](#) NEWS [More](#) For Students

2020/11/20 - 2021/01/15  
 "JGP Seminar IX" by Prof. Brett L. Lucht (University of Rhode Island, USA) [More detail](#)

Oct 1, 2020  
 Dr. Duncan W. Brown (President, Pacific Tech Link, LLC (USA), Guest Research Associate, Kyoto University) is now staying at JGP. He will deliver four Lectures (details: [page 20member1](#)).

Admission  
 Curriculum  
 Lecture / workshop / seminar



JGP化学系オフィス  
A3棟152号室  
Tel: 2878 古谷 (3月以降は北尾)

ユニット会議委員

専攻	氏名	電話
材料化学	大塚 浩二	15-2447
材料化学	中尾 佳亮	15-2443
物質エネルギー化学	陰山 洋	15-2506
物質エネルギー化学	安部 武志	15-2487
分子工学	今堀 博	15-2566
分子工学	関 修平	15-2572
高分子化学	秋吉 一成	15-2589
高分子化学	大内 誠	15-2600
合成・生物化学	村上 正浩	15-2747
合成・生物化学	跡見 晴幸	15-2777
化学工学	河瀬 元明	15-2663
化学工学	佐野 紀彰	15-2664
化学工学	大嶋 正裕	15-2666